

2016年2月1日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 米田 久美子

ザンビア国 南部地域送電網整備事業
(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年1月18日(月) 13:58～16:34
 - ・場所：JICA 本部 (1階 111会議室)
 - ・ワーキンググループ委員：柴田委員、谷本委員、村山委員、米田委員
 - ・議題：ザンビア国南部地域送電網整備事業準備調査に係るスコーピング案についての助言案作成
 - ・配付資料：ザンビア国南部地域送電網整備事業準備調査に係るスコーピング案事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第66回委員会)

- ・日時：2016年2月1日(月) 14:30～16:48
- ・場所：JICA 本部(113会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 既存の送電線がアップグレードされても同じ場所にさらに新設が必要な理由を、電力開発マスタープランとの関係、発電所と主な電力利用地との位置関係、電力需要予測の数値等を示して、DFR に記述すること。
2. 本事業の送電線と並行する既存送電線による自然環境及び社会環境への影響の確認を現地調査の調査手法に追加すること。

代替案の検討

3. 「案-0：ゼロオプション」において、既存の電源開発計画等から、本事業を実施しない場合に将来不足する送電容量を DFR において定量的に明示すること。
4. Muzuma～Livingstone のルートの代替案検討については、距離と自然環境の関係に加えて、社会経済面の考慮の結果も DFR に記述すること。
5. 案-2（既存送電線沿いのルート）と案-3（住民移転を最小限に抑えた既存送電線沿いのルート）との折衷案として、住民移転を不要とし、森林伐採を最小化するような案の妥当性（技術的、コスト的、社会的）を検討し、その結果を DFR に記述すること。
6. 代替案の評価においては、総合評価でゼロオプションを×（不可）と評価することの妥当性を示すために、個別項目についても相対的な評価を行い、その結果を DFR に記述すること。

スコーピング・マトリックス

7. 保護区に係るスコーピングの評価を C に見直し、工事中及び供用後の本事業による影響の有無を現地調査で確認し、その結果を DFR に記述すること。
8. スコーピング・マトリックスの「26. 社会インフラや社会サービス」、「27. 地域経済と生活・生計」、「28. 被害と便益の偏在」、「29. 地域内の利害対立」の項目に関して、それらの評価の欄に本事業の送電線ルート（ROW）沿いの住民が受ける正及び負の影響を記述し、それに基づいてスコーピングの評価を見直すこと。
9. 送電線ルート（ROW）その周辺の墓地などの宗教施設については、地域の Tribal Leader からの聴き取りを含め、現地調査において確認を行い、必要に応じてスコーピングの評価を見直し、緩和策を DFR に記述すること。
10. 工事中の貧困層への影響の評価を C とし、調査の結果を DFR に記述すること。
11. 本事業では既存の送電線に並行して増設される形が想定されているため、電磁波による影響を評価項目として追加する必要性について検討すること。

環境配慮

12. 動物相調査に鳥類の飛行ルート及び繁殖地・採餌地と送電線の位置関係の調査を追加すること。調査手法のヒアリング対象に研究者や専門家を追加すること。
13. 生態系/生物相/生物多様性/森林に関する調査においては、現地調査の時期が雨季のみのため、他の季節の状況を把握する方法についてより詳細に検討し、調査結果を DFR に記述すること。

社会配慮

14. 現地調査の際に、以下の項目について確認を行い、その結果を DFR に記述すること。
 - 1) 本事業での住民移転が被影響住民の生活様式に与える影響
 - 2) 送電線下の ROW 及びその周辺での牧畜や農業としての利用が被影響住民の生活様式に与える影響
15. 供用後の貧困層・ジェンダーへの影響については、送電線からの配電が実施される可能性を含めて調査し、その結果を DFR に記述すること。
16. 住民移転計画書（RCAP）の作成支援については、土地の再取得価格をはじめとする補償内容が具体的に検討できるよう、移転先の候補地を特定したうえで、住民移転計画書の作成を支援するよう努め、その結果を DFR に記述すること。

ステークホルダー協議・情報公開

17. 本事業対象地域は南北に広範囲にわたるため、ステークホルダー協議への参加が十分に確保されるよう、実施の場所及び方法について配慮すること。

以上